

文部科学省教育関係共同利用拠点事業
学部混合・全学一斉展開型科目開発のためのワークショップ
「基幹教育セミナー」公開体験授業 開催要綱

日時：8月26日（土）13:30－17:00

場所：九州大学伊都キャンパス センター1号館 1409 教室

（土曜日ですので、建物の入り口が限られております。掲示にご留意下さい。）

対象：大学の教職員

定員：30名（先着順）、参加費：無料

【趣旨】

九州大学基幹教育では、平成26年度から全新生を対象に「基幹教育セミナー」と「課題協学科目」という、アクティブラーナーを育てるためのユニークな授業を展開しています。また、九州大学基幹教育院は昨年度から、文部科学省教育関係共同利用拠点に認定されており、その事業活動として、昨年度は「課題協学科目」（専門分野の異なる3名の教員が1つのクラスを担当（MagisTRES システム）し、各々異なった視点から教室テーマに沿い、かつ、グループ学習に適した題材（協学課題）を提供）についての公開授業&ワークショップを開催し、広く他大学からもご参加いただいたところです。今年度は、九州大学基幹教育の今一つの主軸科目である「基幹教育セミナー」の公開体験授業を開催いたします。本科目は、社会の諸課題や自己について創造的・批判的に吟味しつつ、自ら問題を発見し、絶えず主体的に学び続ける態度を身につけるために、異なる専門分野を目指す学生および教員との対話や、それを踏まえた自己省察を通じて、一人ひとりが〈学びの基幹〉を育むことを目的とするものです。また、一クラス18人の学部混合少人数編成とし、全学出動による担当教員間で共有された教育内容・教育方法に基づいた全学一斉展開方式によって質の保証を確保する独自の科目マネジメントによっています。今回は、8回の授業（クォーター科目）のエッセンスを約3時間のプログラムに凝縮し、参加者の皆様に「学生」としてご体験いただいて、本科目の目的と方法、科目開発の実際などをご紹介します。

【内容】

- ・開会挨拶 谷口説男（基幹教育院副院長・教授）（5分）
- ・本科目の概要についての説明（20分） 木村政伸（基幹教育院教授）
- ・授業体験Ⅰ（35分）
「グループワークへの誘い」
斎藤新悟（基幹教育院准教授）
- ・授業体験Ⅱ（45分）
「対話と省察を通して、学びの意味を深める」
小島健太郎（基幹教育院准教授）

休憩（10分）

- ・授業体験Ⅲ（50分）
「プレゼンテーションとピアレビューによって、表現・対話・省察の好循環を形成する」 鎌滝晋礼（基幹教育院助教）
- ・質疑・総合討論（40分） 司会：川島啓二（基幹教育院教授）
- ・閉会挨拶：野瀬健（基幹教育院教授・副院長補佐）

*内容は一部変更されることもあります。

【参加申込】

<http://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/application/#form20170826>

申込フォーマットにてお申し込みください。

【締切】8月21日(月)17:00（ただし、定員に達し次第、受付を終了します。）

【問い合わせ先】

九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

TEL：092-802-6070 Mail：kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp

（タイトルに【8/26 ワークショップ】と記載して頂けると幸いです。）

*平成28年7月に、九州大学基幹教育院は「教育関係共同利用拠点」として文部科学省から認定され、その実施組織として「次世代型大学教育開発センター」を設置いたしました。教育関係共同利用拠点とは、多様化する社会と学生のニーズに応えつつ質の高い教育を提供していくために、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進するものです。

(http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/daigakukan/1375506.htm)

以上